

日本赤十字社臨床衛生検査技師会会誌

# 日 赤 検 査

The Journal of Red Cross Medical Technologists

————1996————第30巻 第2号————



日本赤十字社臨床衛生検査技師会



# 目 次

## 【巻 頭 言】

“迷える時は原点に”	会長 笠井直幸	1
------------	---------	---

## 【研 究】

T細胞型悪性リンパ腫の治療中に急性骨髄白血病を発症した1症例	山田赤十字病院 大岩小織	3
ST4におけるトロンボテストの基礎的検討	岡山赤十字病院 井口祥三郎	7
1次検査に便潜血、問診票を用いた大腸癌集団検診	原町赤十字病院 富沢雄一	11
細菌感染尿による採尿バックの青紫着色	京都第二赤十字病院 西川美年子	16
汎用自動分析機によるHDL-C直接法の基礎的検討	岡山赤十字病院 樋口信久	19
糖尿病透析患者の血清コレステロールについて	松山赤十字病院 宮田安治	24
免疫反応を用いたHbA1c測定試薬の比較検討	浜松赤十字病院 吉田仁	28
Peg・クームス法で検出されたRh(-)妊婦の抗D抗体価の意義	熊本赤十字病院 松永竜子	36
心不全における心肥大係数の臨床病理学的意義	大津赤十字病院 小野久子	40
11ヶ月児に発症した卵巣卵黄嚢腫瘍の1症例について	沖縄赤十字病院 瑞慶山良助	45
脾梗塞の1症例	姫路赤十字病院 綿貫裕	48
冠動脈瘤をきたした川崎病不全型の1症例	姫路赤十字病院 西川三千彦	54
脳腫瘍の術中迅速細胞診	大宮赤十字病院 三田健司	59
日赤病(産)院検査室における地震対策実態調査	静岡赤十字病院 井上孝司	64
試薬管理の徹底と節減について	静岡赤十字病院 青野尚子	74

## 【検査室ノート】

病理検査室における換気装置の検討	石巻赤十字病院 菅原 勲	77
------------------	--------------	----

## 【特別寄稿】

第10回日本赤十字社臨床衛生検査学会をふり返って	第10回学会会長 星 岩雄	79
第10回日本赤十字社臨床衛生検査学会をふり返って	第10回学会実行委員長 中村郁夫	81

【北から南から】	84
----------	----

【報 告】	94
-------	----

【会 則】	110
-------	-----

【附：会員名簿】	117
----------	-----



## 〔巻頭言〕



## “迷える時は原点に”

日本赤十字社臨床衛生検査技師会

会長 笠井直幸

医療費抑制政策に伴う医療現場は非常に苦しいものがあります。

検査をすれば病院財政は潤う、検査技師は産めよ増やせよの時期がありました。昭和56年頃から保険点数の見直しが始まり、いわゆる“まるめ方式”が導入され、薬漬け検査漬けなる言葉さえ生まれました。でも本当に患者の立場に立って考える時、その患者に本当に必要な疾病に適切な検査を選ぼうではないか反省する時なのかも知れません。

昭和30年以前は医師が診療の傍ら試験官を振って検査をしていた時代があります。診療の数的要求から検査技師の誕生があり医師の診断の助力者として臨床検査技師が確立されたのです。ややもすると、臨床検査の発達は検査だけがどんどん一人歩きし始め、医師、看護婦、その他医療従事者との関連を忘れがちになっていないだろうか？

検査を業とするコマーシャルラボが目覚ましい発達（精度、生産性、ローコスト）によって私達の検査室を脅かす現象すら見られる。勿論、私達だけではどうにも出来ない検査項目もあり助けて貰って総合力として医療を守るべき事は事実であります。ただ、病院経営上だけで検体検査の外注化が進もうとしているように聞く。

検査部運営、臨床検査技師の今後を考える時、私達は迷う。

“迷った時は原点に” 医師の診療の助力者（協力者）から生まれた私達検査技師に今、何を求めているかを知るべきであろう。「緊急検査ですか？」「生理検査ですか？」「超音波検査ですか？」「病理の迅速検査ですか？」「PCRですか？」等、本当の医師の求めるニーズを知ることから始めなければなりません。



検査部のスタッフに関しても流動的に多少の配置換えをさせてでも、医師のニーズに応えるべきと考え、この事が臨床検査技師の将来を明るくする源であると思います。

先輩から受け継いできた検査学の何を捨て、何を残し、そして何を始めるか、スリムになって脚力の強い臨床検査部に、もうそこまで来ている21世紀の足音に応えるべく、生まれ変わらなければなりません。

この「日赤検査」も国会図書館に日本全国図書誌として認められました。益々、良い論文をお待ちしております。

最後に成りましたが編集されました足利日赤の大西一明先生に深謝致します。21世紀に向け未来からの呼びかけに対応すべく、心と思考と行動を切望いたします。